

平成30年度 事業評価 (案)

事業名 (箇所名)	複合一貫輸送ターミナル整備事業 (東予港 中央地区)				事業 主体	四国地方整備局																																																								
実施箇所	愛媛県西条市																																																													
該当基準	社会経済情勢の急激な変化等により再評価が必要となった事業																																																													
主な事業の諸 元	岸壁(水深7.5m)(耐震)、航路(水深7.5m)、泊地(水深7.5m)、臨港道路、ふ頭用地																																																													
事業期間	事業採択	平成26年度	完了	平成37年度																																																										
総事業費(億 円)	183	残事業費(億円)		55																																																										
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景></p> <ul style="list-style-type: none"> ・船留施設の水深不足により、増大する貨物需要及び船舶の大型化に対応できず、非効率な輸送形態を強いられている。 ・大規模地震発生時において、海上からの緊急物資等の輸送を確保することによって、地域の生活や産業活動の維持を図る必要がある。 <p><達成すべき目標></p> <p>船舶の大型化に対応することで輸送効率化を図り、併せて耐震機能を備えた岸壁の整備により大規模地震時における海上からの緊急物資等の輸送機能を確保する。</p> <p>①船舶大型化への対応 ②貨物輸送の効率化 ③震災時における緊急物資等の輸送機能の確保</p>																																																													
上位計画の 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資本整備重点計画(第4次) 重点目標々 民間投資を誘発し、経済成長を支える基盤を強化する 4-2 地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進 ■政策目標・施策目標 ・政策目標:国際競争力・観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化。 ・施策目標:海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する。 ■定性的・定量的な効果 <定性的な効果> <ul style="list-style-type: none"> ・排出ガスの減少 ・旅客待ち時間の緩和 ・操船時のパイロットの精神的負荷の軽減 ・タグボート費用損失回避 ・地域の安全・安心の確保と地域生活・産業活動の維持 <定量的な効果> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送コストの削減 ・震災時輸送コストの削減 																																																													
事業の多面的 な効果	<p>■定量的効果のうち投資効率性</p> <p>○便益の主な根拠 輸送コストの削減(平成38年度予測取扱貨物量:95千台/年) 震災時輸送コストの削減(想定被災人口:3千人/回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基準年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th colspan="2">平成37年度</th> <th colspan="2">平成38年度</th> </tr> <tr> <th>B総便益 (億円)</th> <th>C総費用(億円)</th> <th>B総便益 (億円)</th> <th>C総費用(億円)</th> <th>B総便益 (億円)</th> <th>C総費用(億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B総便益 (億円)</td> <td>233</td> <td></td> <td>179</td> <td></td> <td>5.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C総費用 (億円)</td> <td></td> <td>53</td> <td></td> <td>45</td> <td></td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>(感度分析)</td> <td colspan="2">事業全体のB/C</td> <td colspan="2">残事業のB/C</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>需要 (-10% ~ +10%)</td> <td colspan="2">1.2 ~ 1.4</td> <td colspan="2">1.0 ~ 1.3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>建設費 (+10% ~ -10%)</td> <td colspan="2">1.3 ~ 1.3</td> <td colspan="2">1.1 ~ 1.3</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>建設期間 (+10% ~ -10%)</td> <td colspan="2">1.3 ~ 1.3</td> <td colspan="2">1.1 ~ 1.2</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>							基準年度	平成30年度		平成37年度		平成38年度		B総便益 (億円)	C総費用(億円)	B総便益 (億円)	C総費用(億円)	B総便益 (億円)	C総費用(億円)	B総便益 (億円)	233		179		5.5		C総費用 (億円)		53		45		1.2	(感度分析)	事業全体のB/C		残事業のB/C				需要 (-10% ~ +10%)	1.2 ~ 1.4		1.0 ~ 1.3				建設費 (+10% ~ -10%)	1.3 ~ 1.3		1.1 ~ 1.3				建設期間 (+10% ~ -10%)	1.3 ~ 1.3		1.1 ~ 1.2			
基準年度	平成30年度		平成37年度		平成38年度																																																									
	B総便益 (億円)	C総費用(億円)	B総便益 (億円)	C総費用(億円)	B総便益 (億円)	C総費用(億円)																																																								
B総便益 (億円)	233		179		5.5																																																									
C総費用 (億円)		53		45		1.2																																																								
(感度分析)	事業全体のB/C		残事業のB/C																																																											
需要 (-10% ~ +10%)	1.2 ~ 1.4		1.0 ~ 1.3																																																											
建設費 (+10% ~ -10%)	1.3 ~ 1.3		1.1 ~ 1.3																																																											
建設期間 (+10% ~ -10%)	1.3 ~ 1.3		1.1 ~ 1.2																																																											
社会経済情勢 等の変化	航路(-7.5m)の拡幅にかかわる土砂処分方法が決定したことから、事業計画の変更を行ったため。																																																													
主な事業の進 捗状況	総事業費183億円、既投資額128億円 平成30年度末 事業進捗率70%																																																													
主な事業の進 捗の見込み	事業が順調に進んだ場合には、平成37年度の完了を予定している。																																																													
コスト削減や代 替案立案等の 可能性	浚渫土砂の受入れ先である東予港内土砂処分場に築堤を設け、受入れ容量を増加させることによって、遠方の土砂処分場への搬入量を減少させ、コスト削減を図る。																																																													
対応方針	継続																																																													
対応方針理由	効果的な事業の実施を図ることによって、十分な事業の効果があると判断されるため。																																																													
その他	<第三者委員会の意見・反映内容>																																																													



30土(技)第604号
平成30年12月3日

四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(回答)

平成30年11月19日付け国四整企画第32号で依頼のあった標記について、
別紙のとおり回答いたします。

<別紙>

次の再評価に係る「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【港湾事業】 1件

事業名	「対応方針(原案)」案	備考
東子港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業	継続	

なお、事業に対する意見は下記のとおりです。

記

引き続きより一層のコスト縮減に努めていただきますようお願いいたします。

1. 便益の算定表
①事業全体：総額

年度	施設供用期間	建設費・再投資費		管理運営費		総費用 (C)	割引前			総便益 (B)	純便益 (B-C)	
		再投資費	建設費	管理運営費	総費用		輸送コストの削減	震災時輸送コスト増大回避	残存価値			
2014 (H26)			2.6			2.6					-2.6	
2015 (H27)			28.5			28.5					-28.5	
2016 (H28)			29.6			29.6					-29.6	
2017 (H29)			30.9			30.9					-30.9	
2018 (H30)			28.7			28.7					-28.7	
2019 (H31)	1		12.5	0.0		12.6	7.2	0.0		7.2	-5.4	
2020 (H32)	2		8.2	0.0		8.2	7.2	0.0		7.2	-1.1	
2021 (H33)	3		6.5	0.0		6.6	7.2	0.0		7.2	0.6	
2022 (H34)	4		5.8	0.0		5.8	7.2	0.0		7.2	1.3	
2023 (H35)	5		5.8	0.0		5.8	7.2	0.0		7.2	1.3	
2024 (H36)	6		5.8	0.0		5.8	7.2	0.0		7.2	1.3	
2025 (H37)	7		6.3	0.0		6.4	7.2	0.0		7.2	0.8	
2026 (H38)	8			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2027 (H39)	9			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2028 (H40)	10			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2029 (H41)	11			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2030 (H42)	12			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2031 (H43)	13			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2032 (H44)	14			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2033 (H45)	15			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2034 (H46)	16			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2035 (H47)	17		7.9	0.0		7.9	12.2	0.0		12.3	4.3	
2036 (H48)	18			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2037 (H49)	19			0.0		0.0	12.2	0.0		12.3	12.2	
2038 (H50)	20			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2039 (H51)	21			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2040 (H52)	22			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2041 (H53)	23			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2042 (H54)	24			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2043 (H55)	25			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2044 (H56)	26			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2045 (H57)	27			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2046 (H58)	28			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2047 (H59)	29			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2048 (H60)	30			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2049 (H61)	31			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2050 (H62)	32			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2051 (H63)	33			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2052 (H64)	34		7.9	0.0		7.9	12.2	0.0		12.2	4.3	
2053 (H65)	35			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2054 (H66)	36			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2055 (H67)	37			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2056 (H68)	38			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2057 (H69)	39			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2058 (H70)	40			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2059 (H71)	41			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2060 (H72)	42			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2061 (H73)	43			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2062 (H74)	44			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2063 (H75)	45			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2064 (H76)	46			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2065 (H77)	47			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2066 (H78)	48			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2067 (H79)	49			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	12.2	
2068 (H80)	50			0.0		0.0	12.2	0.0		12.2	15.9	
合計			186.9	2.1		189.0	576.2	0.5		3.7	580.4	391.5

②事業全体：現在価値換算後

EIRR=	5.5%	NPV=	53.7 億円
B/C=	1.3		

(億円)

年度	施設供用期間	社会的割引率	建設費・再投資費	管理運営費	総費用 (C)	割引後				総便益 (B)	純便益 (B-C)
						輸送コスト削減	震災時輸送コスト増大回避	残存価値			
2014 (H26)		1.17	3.0		3.0					6.9	-3.0
2015 (H27)		1.13	32.0		32.0					6.6	-32.0
2016 (H28)		1.08	32.0		32.0					6.4	-32.0
2017 (H29)		1.04	32.1		32.1					6.1	-32.1
2018 (H30)		1.00	28.7		28.7					5.9	-28.7
2019 (H31)	1	0.96	12.0	0.0	12.1	6.9	0.0			6.9	-5.2
2020 (H32)	2	0.93	7.6	0.0	7.6	6.6	0.0			6.6	-1.0
2021 (H33)	3	0.89	5.8	0.0	5.8	6.4	0.0			6.4	0.5
2022 (H34)	4	0.86	5.0	0.0	5.0	6.1	0.0			6.1	1.1
2023 (H35)	5	0.82	4.8	0.0	4.8	5.9	0.0			5.9	1.1
2024 (H36)	6	0.79	4.6	0.0	4.6	5.7	0.0			5.7	1.1
2025 (H37)	7	0.76	4.8	0.0	4.8	5.4	0.0			5.4	0.6
2026 (H38)	8	0.73		0.0	0.0	8.9	0.0			9.0	8.9
2027 (H39)	9	0.70		0.0	0.0	8.6	0.0			8.6	8.6
2028 (H40)	10	0.68		0.0	0.0	8.3	0.0			8.3	8.3
2029 (H41)	11	0.65		0.0	0.0	8.0	0.0			8.0	7.9
2030 (H42)	12	0.63		0.0	0.0	7.6	0.0			7.7	7.6
2031 (H43)	13	0.60		0.0	0.0	7.4	0.0			7.4	7.3
2032 (H44)	14	0.58		0.0	0.0	7.1	0.0			7.1	7.0
2033 (H45)	15	0.56		0.0	0.0	6.8	0.0			6.8	6.8
2034 (H46)	16	0.53		0.0	0.0	6.5	0.0			6.5	6.5
2035 (H47)	17	0.51	4.0	0.0	4.1	6.3	0.0			6.3	2.2
2036 (H48)	18	0.49		0.0	0.0	6.0	0.0			6.1	6.0
2037 (H49)	19	0.48		0.0	0.0	5.8	0.0			5.8	5.8
2038 (H50)	20	0.46		0.0	0.0	5.6	0.0			5.6	5.6
2039 (H51)	21	0.44		0.0	0.0	5.4	0.0			5.4	5.4
2040 (H52)	22	0.42		0.0	0.0	5.2	0.0			5.2	5.2
2041 (H53)	23	0.41		0.0	0.0	5.0	0.0			5.0	5.0
2042 (H54)	24	0.39		0.0	0.0	4.8	0.0			4.8	4.8
2043 (H55)	25	0.38		0.0	0.0	4.6	0.0			4.6	4.6
2044 (H56)	26	0.36		0.0	0.0	4.4	0.0			4.4	4.4
2045 (H57)	27	0.35		0.0	0.0	4.2	0.0			4.3	4.2
2046 (H58)	28	0.33		0.0	0.0	4.1	0.0			4.1	4.1
2047 (H59)	29	0.32		0.0	0.0	3.9	0.0			3.9	3.9
2048 (H60)	30	0.31		0.0	0.0	3.8	0.0			3.8	3.8
2049 (H61)	31	0.30		0.0	0.0	3.6	0.0			3.6	3.6
2050 (H62)	32	0.29		0.0	0.0	3.5	0.0			3.5	3.5
2051 (H63)	33	0.27		0.0	0.0	3.4	0.0			3.4	3.3
2052 (H64)	34	0.26	2.1	0.0	2.1	3.2	0.0			3.2	1.1
2053 (H65)	35	0.25		0.0	0.0	3.1	0.0			3.1	3.1
2054 (H66)	36	0.24		0.0	0.0	3.0	0.0			3.0	3.0
2055 (H67)	37	0.23		0.0	0.0	2.9	0.0			2.9	2.9
2056 (H68)	38	0.23		0.0	0.0	2.8	0.0			2.8	2.7
2057 (H69)	39	0.22		0.0	0.0	2.7	0.0			2.7	2.6
2058 (H70)	40	0.21		0.0	0.0	2.5	0.0			2.5	2.5
2059 (H71)	41	0.20		0.0	0.0	2.4	0.0			2.4	2.4
2060 (H72)	42	0.19		0.0	0.0	2.4	0.0			2.4	2.4
2061 (H73)	43	0.19		0.0	0.0	2.3	0.0			2.3	2.3
2062 (H74)	44	0.18		0.0	0.0	2.2	0.0			2.2	2.2
2063 (H75)	45	0.17		0.0	0.0	2.1	0.0			2.1	2.1
2064 (H76)	46	0.17		0.0	0.0	2.0	0.0			2.0	2.0
2065 (H77)	47	0.16		0.0	0.0	1.9	0.0			1.9	1.9
2066 (H78)	48	0.15		0.0	0.0	1.9	0.0			1.9	1.9
2067 (H79)	49	0.15		0.0	0.0	1.8	0.0			1.8	1.8
2068 (H80)	50	0.14		0.0	0.0	1.7	0.0			1.8	2.2
合計			178.5	0.9	179.4	232.3	0.3	0.5		233.1	53.7

③残事業：総額

年度	施設供用期間	建設費・再投資費	管理運営費	総費用 (C)	割 引 前		総便益 (B)	純便益 (B-C)
					輸送コストの削減	残存価値		
2018 (H30)	1	12.5	0.0	12.6				-12.6
2019 (H31)	2	8.2	0.0	8.2				-8.2
2020 (H32)	3	6.5	0.0	6.6				-6.6
2021 (H33)	4	5.8	0.0	5.8				-5.8
2022 (H34)	5	5.8	0.0	5.8				-5.8
2023 (H35)	6	5.8	0.0	5.8				-5.8
2024 (H36)	7	6.3	0.0	6.4				-6.4
2025 (H37)	8		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2026 (H38)	9		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2027 (H39)	10		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2028 (H40)	11		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2029 (H41)	12		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2030 (H42)	13		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2031 (H43)	14		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2032 (H44)	15		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2033 (H45)	16		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2034 (H46)	17		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2035 (H47)	18		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2036 (H48)	19		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2037 (H49)	20		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2038 (H50)	21		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2039 (H51)	22		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2040 (H52)	23		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2041 (H53)	24		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2042 (H54)	25		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2043 (H55)	26		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2044 (H56)	27		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2045 (H57)	28		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2046 (H58)	29		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2047 (H59)	30		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2048 (H60)	31		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2049 (H61)	32		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2050 (H62)	33		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2051 (H63)	34		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2052 (H64)	35		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2053 (H65)	36		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2054 (H66)	37		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2055 (H67)	38		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2056 (H68)	39		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2057 (H69)	40		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2058 (H70)	41		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2059 (H71)	42		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2060 (H72)	43		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2061 (H73)	44		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2062 (H74)	45		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2063 (H75)	46		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2064 (H76)	47		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2065 (H77)	48		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2066 (H78)	49		0.0	0.0	3.4		3.4	3.3
2067 (H79)	50		0.0	0.0	3.4		3.3	3.3
2068 (H80)								6.6
合 計		51.0	2.1	53.1	144.9	3.3	148.2	95.1

(億円)

2. 建設費等一覧

(1) 建設費

項目	数量	全体事業費(億円)	残事業費(億円)
工事費			
中央地区岸壁(水深7.5m)		57.5	1.6
仮設工	1 式	1.4	0.0
構造物撤去工	1 式	1.8	0.0
土工	1 式	0.8	0.0
海上地盤改良工	260 m	3.8	0.0
基礎工	260 m	7.8	0.0
本体工(ケーソン)	16 函	12.2	0.0
裏込及び裏埋工	260 m	9.6	0.0
被覆・根固工	260 m	0.1	0.0
上部工	260 m	1.4	0.0
舗装工	260 m	3.4	1.6
付属工	1 式	6.8	0.0
雑工	1 式	8.4	0.0
中央地区泊地(水深7.5m)		14.9	0.0
浚渫工	12.7 ha	14.9	0.0
中央地区航路(水深7.5m)		84.9	45.8
浚渫工	63.6 ha	84.9	45.8
ふ頭用地		0.0	0.0
舗装工等	1 式	0.0	0.0
臨港道路		0.0	0.0
舗装工等	470 m	0.0	0.0
用地費及補償費			
用地費	0 式	0.0	0.0
補償費	1 式	0.3	0.0
間接経費			
合計		176.7	53.6

※港湾請負工事積算基準及び類似事業箇所の実績より算出している。

※四捨五入により端数が合わない場合がある。

(2) 管理運営費

項目	数量	金額(億円/年)
管理運営費	1 式	0.05

※港湾管理者等へのヒアリングにより算出している。